

ヤマダ会計ニュース

1月号 vol.085

税理士法人 ヤマダ会計

「認定 経営革新等支援機関」



〒 432-8021

静岡県浜松市中央区佐鳴台一丁目6番11号

TEL: (053) 448-5505 FAX: (053) 448-6269

<https://www.yamadakaikei-go.jp/>

明けましておめでとうございます。今年は何（み）年。へビは脱皮する特性から復活や再生の象徴、または不老長寿など縁起物としても親しまれてきました。へビにまつわることわざは多く、哲学者のニーチェも「脱皮できないへビは滅びる」という格言を残しています。今年も巳（実）を結ぶ年になると願いたいものですね。

知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【生前贈与の対象期間が7年に】

2023年度の税制改正により、相続時における生前贈与に関する制度が大きく変更されました。従来は、相続開始前3年以内の生前贈与が相続財産に加算されていましたが、この期間が7年に延長されることになりました。



これは2024年1月1日以降の生前贈与から適用され、その対象期間が段階的に延びていきます。そして2031年1月1日以降の相続からは、完全に7年に移行されます。ただし延長された4年間（相続開始前4年目から7年目）の生前贈与については、総額100万円までが相続財産の加算対象から除外されます。今回の改正の目的は、相続税の回避を目的とした駆け込みでの生前贈与を防止し、より公平な課税を実現することです。そのため富裕層への課税強化と、高齢層から若年層への早期の資産移転の促進も意図されています。相続税対策として生前贈与を検討する際は、今回の制度変更の趣旨を十分に理解し、適切な対応を取ることが重要です。ご不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。

世界の偉人伝

今月の偉人：【シュタイナー】

ルドルフ・シュタイナーはオーストリア出身の神秘思想家、教育者、哲学者です。幼い頃から自然美や幾何学に親しみ、ウィーン工科大学では化学や数学を専攻しながら哲学や文学の研究を重ねました。神秘思想と科学を融合した「人智学」を創始すると教育、芸術、医学などの分野で人々を啓蒙しました。個性や人間力を重んじるシュタイナー教育は70カ国以上で実践されています。「人間を認識したければ宇宙を見るがよい」の言葉どおり、人間の中に神的英知を見る人だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【quarter】

「2000年問題」が大きく話題になってからそれほど月日が経った気がしませんが、今年は何（み）年、もう四半世紀が過ぎました。「四半世紀」は“a quarter of a century”です。“century”は100年、“half a century”は50年、“three quarter of a century”は75年です。クォーターは「4分の1」のことで、25セント硬貨の別称でもあります。“We achieved the largest first quarter sales in our history.”「当社は第1四半期として史上最高の売り上げを達成しました」のように使います。



今月のトピック：【鳥貴族】

居酒屋「鳥貴族」が好調です。全品均一価格を370円に値上げしてもなおコストパフォーマンスは高く、福岡や仙台など地方の新規店でも好評です。海外進出を果たした台湾や韓国では、インバウンドで鳥貴族の魅力を知ったファンが殺到しています。創業時からの理念は「焼き鳥で世の中を明るくする」。コロナ禍を越えた快進撃に注目です。



才人の言葉

自分の勝てる場所
戦う生き方は強い

日本の予備校講師、タレントである林修の言葉。サッカーなどの競技に限らず、人生においてもアウェーではなく自分自身のホームで全力を注いだほうがより強い。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【おひたしとかつおぶし】

ヘビは成長するにつれて脱皮を繰り返すそうです。「脱皮できないヘビは滅びる」とは、古い殻に閉じこもったままの人間はダメになるという格言です。企業も人も成功体験にこだわりを持ちますが、成功体験から脱皮できずに同じことを何度も繰り返しては、いずれ滅びてしまうでしょう。常識や価値観も「古い殻」になりがちです。とはいえ、古い殻を破っていくのは簡単なことではありません。そこでまず自分のふるまいを変えてみることにチャレンジしてみませんか。ヒントは「おひたし」と「かつおぶし」です。おひたしの「お」は怒らない。「ひ」は否定しない。「た」は助ける。「し」は指示しない。かつおぶしの「か」は完璧を求めない。「つ」はつまらないことはしない。「お」は穏やかな心。「ぶ」は不格好でいい。

「し」は縛りすぎない。さていかがでしょう。「おひたし」と「かつおぶし」が身につけば、明らかに古い殻を破っていけると思いませんか。ふだんは怒りっぽい人が怒らないだけで、周りの人は「あの人、ずいぶん穏やかになったね」と好意的になるでしょう。違うと思ってもまずは受け止め、うるさく指示したり束縛したりする代わりに相手を尊重し、時にはさらっと手助けをしてみたり。そして少しくらいできが悪いと思っても「まあ、いいか」とやり過ぎせる器の広さ。人に対してはもちろんのこと、自分に対しても完璧を求めず、不格好な自分も受け入れて愛することが、古い殻を破る一番の方法だと思えます。2025年がどんな年になるとしても「おひたし」と「かつおぶし」で脱皮をし続け、新しい扉の向こうを見たいものです。



2025年がどんな年になるとしても「おひたし」と「かつおぶし」で脱皮をし続け、新しい扉の向こうを見たいものです。

トナリの本棚

【地面師たち】

Netflixで世界配信されている新庄耕の犯罪小説。土地を利用して詐欺を繰り返す地面師たちの組織的犯罪を圧倒的リアリティーで描く一冊です。



スナック菓子などの袋を素手で開けにくいときは、2枚の十円玉で袋の縁を挟み、奥の十円玉が手前に、手前の十円玉が奥に行くように2枚をスライドさせると簡単に開封できます。はさみがないとき、または緊急事態が起きた際などに覚えておく役に立ちます。

